

【No. 10】 正 解 4

次のように横 1 列に並べることができる。

	南						北
1	2	3	4	5	6	7	

ア：A と F の関係が次のようになることを示している。

F			A
---	--	--	---

イ：B D C の順にならべる

ウ：E が 1~5 のどれかであることを示している。

エ：G=5 である。

あとは、場合を分けて並べていけばよい。アで場合分けをすると、すぐに A と F の位置が決まるため、これを使い、さらにその先でウの位置で場合分けをする。

F=1 のとき

F			A	G		
---	--	--	---	---	--	--

E の場所で場合分けをする。

F	E	B	A	G	D	C
F	B	E	A	G	D	C

F=3 のとき

		F		G	A	
--	--	---	--	---	---	--

E の場所で場合分けをする。

E	B	F	D	G	A	C
B	E	F	D	G	A	C
B	D	F	E	G	A	C

F=4 のとき

			F	G		A
--	--	--	---	---	--	---

E の場所で場合分けをする。

E	B	D	F	G	C	A
B	E	D	F	G	C	A
B	D	E	F	G	C	A

以上の 8 通りが条件を満たしている。この中で条件を満たしているのは肢 4 である。

順序関係は、判断推理の中では最も基本的なパターンです。特に東京都の場合、条件だけでは何通りも場合が残るのが特徴で、今回も結局 8 通りが考えられます。

「・・・であれば、・・・」という選択肢ですから、選択肢を使ってしまうのも手かもしれません。実際には 1~4 まで確かめれば終わりですし、個々のケースについては、割と簡単に結論が出てきます。

ただし、僕の場合、順序関係は、解答で示す以上に作業が簡単で、何も考えずにすぐに結論が出てきますので、選択肢を使いませんでした（選択肢を使うと、結局最初から何通りもやり直すことになります）。ここは好き好きでしょう。いずれにしても、判断推理では、場合分けが最大のポイントです。